

# DX交流サロン

DX交流サロンは、デジタルトランスフォーメーション(DX)に関心のある企業、自治体の職員、教育機関の教職員に参加していただき、DXについて情報交換や自由に議論していただく場です。今回は、企業と大学においてデータ分析を実際の成果に結びつける取り組みを続けられてきた河本薫氏に基調講演をいただきます。また、パネルディスカッションでは、その様な取り組みを可能にする人材育成について議論を深めたいと思います。奮ってご参加ください。

日時：2019年11月30日(土) 15:00~17:30 (14:30受付開始) 17:45~19:30 (情報交換会)

場所：TKP神戸三宮カンファレンスセンター5階 ホール5 A  
[神戸市中央御幸通6区丁目1-12 東館5階 三宮ビル]

対象：DXに関心のある企業・自治体の職員・大学関係者

定員：120名

参加費：無料 (情報交換会は有料、参加費3,000円)

申込方法：以下のURL内のお申込みフォームより、お申込みください

[https://www.kokuchpro.com/event/191130\\_DX\\_salon/](https://www.kokuchpro.com/event/191130_DX_salon/)



プログラム	15:00~15:10	開会挨拶
	15:10~16:10	講演 河本 薫 (滋賀大学データサイエンス学部教授、データサイエンス教育研究センター副センター長)
	16:20~17:20	パネルディスカッション
	17:20~17:30	閉会挨拶
	17:45~19:30	情報交換会 (19:00 中締め)

## 講演

### データ分析を単なる分析結果に終わらせず 成果につなげるために必要な思考フレームワーク

**河本 薫** (滋賀大学データサイエンス学部教授、データサイエンス教育研究センター副センター長、元大阪ガス(株)ビジネスアナリシスセンター所長)



#### [講演概要]

ビッグデータという言葉が流行して以来、日本企業は、分析に強い人材を育成し、工場や顧客のデータを収集するシステムを構築し、様々なデータ分析プロジェクトを立ち上げてきた。しかしながら、多くの企業は投資に見合ったビジネス成果を得られていないのではいだろうか。大阪ガスでデータ分析組織を作り、発展させてきた講演者は、その原因は、分析力やデータ量ではなく、現場の力とデータの力を融合させるプロセスの欠如にあると考える。

講演者は、このプロセスを意識してデータ分析に取り組むうちに、現場業務の種類によってこのプロセスを類型化できることに気付き、データ分析を単なる分析で終わらせず業務改革につなげる成功確率を高めた。

#### [講演者略歴]

1991年、京都大学応用システム科学専攻修了。大阪ガスに入社。1998年から米国ローレンスバークレー国立研究所でエネルギー消費データ分析に従事。帰社後、大阪ガスにてデータ分析による業務改革を推進。2011年からデータ分析組織であるビジネスアナリシスセンターの所長を務め、大阪ガスにおいてデータ分析組織を定着させた。日経情報ストラテジーが選ぶ初代データサイエンス・オブ・ザ・イヤーを受賞。2018年4月より現職。大阪大学招聘教授を兼任。博士(工学、経済学)。著書に『会社を変える分析の力』(講談社現代新書)、『最強のデータ分析組織』(日経BP)など。NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」にも出演。

お問い合わせ先：一般社団法人 デジタルトランスフォーメーション研究機構 (RIDX)

TEL：080-7724-2365 Email：office@ridx.jp

主催：一般社団法人 デジタルトランスフォーメーション研究機構(RIDX)

共催：神戸大学 数理・データサイエンスセンター

\*本イベントはKOBE×DXプロジェクト2019の一環として神戸市より補助金を受けて開催しております。

